

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2022年 1月 13日
事業所名:	夢門塾本川越

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	2	7	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に狭く収納スペースもない為、活動スペースが少ない。 自由遊び時に利用児童から「もっと広い方がいい」との声があった。 運動系の活動をするには、もっとスペースが必要と感じる。 移転先の物件を探し、会社に申請はしているが条件が合わないと却下されている。 ボール遊びをしたい児童に、場所の指定をすることがあり、我慢させていると感じる。 遊び方やレイアウトを工夫してスペースの確保を心がけているが限界を感じている。引き続き、物件を探していきたい。
	②	職員の配置は適切である	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりを見ることが出来るほどの人数である。 学習時に個別対応が必要な児童いる時に、手が回らなく感じることもある。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策として、物品の消毒を毎日おこなっている。 閉所作業では児童が触れた物、おもちゃ類の消毒を徹底しておこなっている。 清掃や環境整備をおこなっているが、建物が古いことで生じる破損や時々虫の発生がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で意識の違いがあるため、今後は全ての職員が意識していけるような方法を検討していく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向け評価表の内容をもとに改善案を検討している。また、ご利用に関するアンケートを適時おこない、ニーズを確認している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 年に1度、ホームページを通して公表している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 会社で行う研修に参加している。 会社で研修をおこなっているが、各職員のレベルにあったものではない。 外部の研修や講演会について、職員に対し周知している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の願いを踏まえて計画している。 職員一人ひとりが児童の様子(どんなことが出来ているか、何に困っているか)をまとめた上で、個々の計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に考えているのは各担当職員だが、その後活動内容を全体に共有している。 活動内容で困ったことがあれば、他の職員に相談できる環境は出来ている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 工作やおやつ調理、SSTの中でも季節に合わせた活動にしたり、週ごとに活動を変えたりしている。 1年間のうちで、なるべく同じ活動が行われないう、計画を立てている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 長期・短期で目標を設定している。 各活動ごとに目標やねらいを定め、支援をおこなっている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 週ごとに活動が変わるので、児童の状況によってではないと感じる。 児童の特性に応じて、ルールの緩和や工作のパーツを変える等の工夫している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 支援開始前に送迎の確認、活動について全体での確認を必ず行っている。 朝礼はしているが、その日の支援内容の確認等はしていない。保護者からの連絡については共有している。 日々の朝礼の実施。活動内容に応じて、特別な支援が必要な場合は共有している。 朝礼の他に、非常勤職員を交えた昼ミーティングをおこない、1日の流れや活動内容および利用児童の情報について共有をおこなっている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 個人の目標に関しての記録、児童の様子や指導員の対応の振り返りを全体で共有している。 その日あったことを、項目に沿って正しく記録している。分からなければ他の指導員に聞き、何をしていたかの共有をしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	2	0	
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	4	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	2	0	・児童、保護者様より予定表を提出してもらい、下校時刻等の確認をおこなっている。送迎にトラブルがあった際には適切に連絡を取っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	7	0	・セルフプランの方が多くこともあり、情報共有の機会は少ない。今後、機会を作っていくよう各所との関係づくりをしていきたい。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	8	0	・当事業所から障がい福祉サービスへ移行した方がまだいない。今後、移行される方が出た際には情報共有が出来るようにしていきたい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	8	1	・連携体制が出来ていないため、今後努力していきたい。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	9	0	0	・送迎の際にその日の様子や出来事を伝え、保護者の方から何かあれば情報を共有している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	9	0	0	・利用前に事前に支援内容や1日の流れをパンフレット等を用いて説明をしている。また、利用開始後も分からないことがあれば、その都度説明を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	4	0	・送迎時に悩みを相談される方もいるので、その際は話を聞き保護者の負担にならないようにしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	3	6	・コロナ禍であることもあり、おこなっていない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1	0	・苦情があった際にはすぐに管理者へ報告し、対応を検討の上で全職員に周知をおこなっている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	8	1	0	・月初に活動予定表や翌月の活動内容および利用希望表の配布をおこなっている。また、前月の活動報告を作成し配布している。 ・月1回「ゆめだより」を発行し、活動内容や児童の様子についてお知らせしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	9	0	0	・事業所得た情報について、外部に漏らさないよう注意している。 個人情報等については、事務所内の書庫で保管、また処分の際にはシュレッターにかけて処分している。 ・氏名、住所等の記載された書類、利用者の写真の管理を徹底している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2	0	
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	0	2	7	・感染症予防の観点から、地域に出る活動は減っている。 ・感染症対策のため、交流はおこなっていない。
非常時などの対応	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	9	0	0	・マニュアルを周知し、ミーティングの際にも口頭での呼び掛けがされている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	1	8	0	
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2	0	・年に1度、会社で虐待防止、人権擁護研修をおこなっている。その他、埼玉県主催の虐待防止研修に管理者が参加している。
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	3	0	・身体拘束をおこなう可能性がある児童がいた際には、保護者に対し事前に説明をおこない同意書をいただいた上で、個別支援計画書へ記載している。
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	2	0	・服薬の依頼があった際には、保護者からの指示通りに行っている。 ・保護者から服薬の相談があった際には、投薬依頼書を記入していただき各項目をチェックしながらおこなっている。
	㉟	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	9	0	0	・細かく文章に残し、全体での共有が出来ている。 ・ヒヤリハットを作成し、みんなが読めるようにしている。 ・夕礼時にヒヤリハットの有無を確認し、内容の記録をおこない共有している。